

パブリックコメント意見募集の結果公表

帯広市一般廃棄物処理基本計画（見直し原案）に対して、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

寄せられたご意見等について検討した結果、帯広市一般廃棄物処理基本計画（見直し原案）の修正は行わず原案どおりとして策定することとしました。

【意見募集結果】

案 件 名	帯広市一般廃棄物処理基本計画（見直し原案）		
募 集 期 間	平成26年11月25日（火）～ 平成26年12月24日（水）		
意見の件数 （意見提出者数）	4件（1人）		
意見の取り扱い	修正	案を修正するもの	件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	件
	参考	今後の参考とするもの	1件
	その他	意見として伺ったもの	3件
意見の受け取り	持参		人
	郵送		人
	ファクス		1人
	電子メール		人

【意見等の内容】

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>17頁図処理方法、焼却時の熱の利用の作図説明が不明です。熱水が現在どのように利用され、排水されているのか明らかでない。例として、住宅の暖房用、児童生徒老人のための温水プール。温水熱利用して、野菜の育成計画があるのか、現在は熱水によって発電して、十勝川に放水しているのか不明です。</p> <p>清掃事業で利用された排水の説明がありません。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>17頁はごみ処理の体制を大まかに表した図を載せています。</p> <p>くりりんセンターでは焼却熱を利用して蒸気により発電を行い施設内の電源としているほか、余剰電力は売電し経費節減に寄与しています。</p> <p>発電で使用した蒸気はボイラー水に戻した後、焼却熱により再び過熱され、発電のために循環利用しています。</p> <p>また、最終処分場では散水（洗浄）で使う水を循環利用しています。</p> <p>ご意見の趣旨は、焼却により生じる熱を有効利用し発電など、資源・エネルギーの有効利用を求めるものと受け止め、計画の基本理念である循環型社会の実現を目指して進めてまいります。</p>

<p>17頁有害ごみ、乾電池、水銀ボタン電池、ニカド電池携帯電話の回収ボックスの案内がありません。有害ごみとして残余の除草剤処理、農業者の残余の野菜の処理についての説明がありません。</p>	<p>1</p>	<p>【その他】 本計画はごみの減量、リサイクル、適正処理のための基本方針を定めるものです。ご意見をいただいた個々の具体的な説明等は、これまでと同様に、ごみ分別パンフレットやホームページ等様々な方法で分かり易く周知します。</p>
<p>29頁(3)市民の適正排出を指摘しているが、固定ステーションで飛散させないため金網の箱・鋼プラスチック箱等を設定しないと飛散防止、衛生上町内の美観がたもたれません。町内、郊外にゴミ捨て防止看板がありません。</p>	<p>1</p>	<p>【参考】 ごみの飛散対策及び不法投棄防止については計画に盛り込み済みです。意見の趣旨は事業を検討する際の参考とします。</p>

【案件の最終案】

別紙のとおり